

資料 12_デジタルルームにおける市提供デジタルコンテンツリスト（案）

【コンテンツリスト】

デジタルルームにおける市提供デジタルコンテンツとして現時点で想定されるものは下記のとおりである。

コンテンツごとの個別情報は次頁以降に示す。

なお、令和5年度以降も、引き続きデジタル未来アート展にてコンテンツが作成される予定であり、随時追加される見込みである。

名称	展示
① 漢字遊戯～漢字の花火で夜空を照らせ！！	H30 デジタル未来アート展～
② ドローイング・アクアリウム	H30 デジタル未来アート展～
③ KOBOSHI KIDS～あいづの宝を取り戻せ！！	H30 デジタル未来アート展～
④ バブルシュート ～デジタルボールパーティ～	R4 デジタル未来アート展
⑤ バーチャル鶴ヶ城マラソン～走って走って走りまくれ～	R1 デジタル未来アート展～
⑥ dist	R3 デジタル未来アート展

【共通条件】

コンテンツの利用にあたっての共通条件は下記のとおりである。

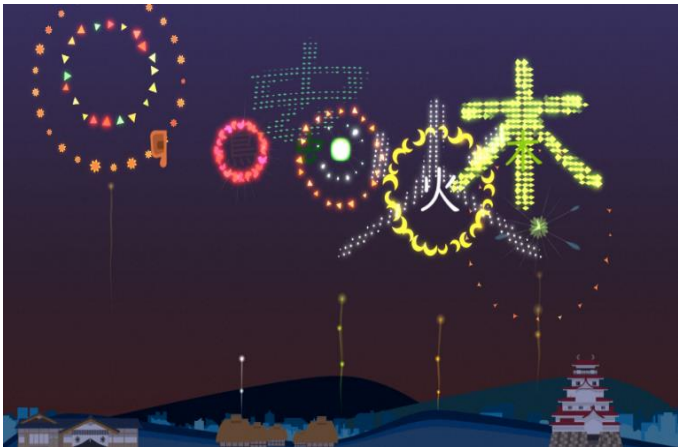
なお、仕様、OS、使用機材等の影響により、開発者・所有者によるソフトウェアの更新が必要となる可能性があるが、その際、コンテンツ使用の継続又は廃止も含めて、事業者の判断に委ねるものとし、コンテンツ使用の継続のためのソフトウェア更新費用等については、事業者の負担によるものとする（市の要望により、コンテンツ使用の継続をする場合を除く）。

項目	内容
コンテンツの資産区分	ソフトウェア
コンテンツの開発者	株式会社デザイニウム (発注元：デジタル未来アート事業実行委員会)
コンテンツの所有者	開発者（株式会社デザイニウム）
コンテンツの提供方法	使用許諾
提供に係る対価	基本無償 (営利目的における活用も含め、本体事業者による使用可)
備考	仕様、OS、使用機材等の影響により、ソフトウェアの更新が必要となる可能性がある。

【コンテンツごとの個別情報】

① 漢字遊戯～漢字の花火で夜空を照らせ！！

<概要>

項目	内容
作品概要	漢字学習と遊びを組み合わせたデジタルアート作品。クイズに正解すると、漢字の成り立ちやストーリーを表現したデジタル花火がスクリーン上の夜空に美しく表現される。
仕組み	タブレットに漢字クイズが出題され、漢字カードから正解のカードを選択しタブレットにかざす。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	壁がどこでも投影できる形だと用途が広がる。 デジタル未来アート展では1画面で投影。
プロジェクター	1	4,000Lm 以上、HD 以上の解像度出力が必要。 その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
タブレット	1	iOS の端末 (iPad) が必要。 OS バージョンにより、ソフトウェアの更新が必要となる可能性あり。
カードリーダー	1	NFC リーダー
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1 式	トラス構造が一番自由度あり。 高さ 3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、 正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
その他	1 式	専用の漢字カードが必要

② ドローイング・アクアリウム

<概要>

項目	内容
作品概要	自分たちで塗り絵をした魚をスクリーン上に表現し、世界でひとつの水族館をつくり上げるコンテンツ。 デジタルコンテンツの仕組みやモノづくりを行う楽しみを学ぶきっかけとするとともに、プログラムされた魚たちの動きを通して、プログラミング技術等への関心を醸成する。
仕組み	塗り絵をスキャンするとスクリーン上に魚が現れる。読み込まれた魚たちは、塗り絵の魚の種類に応じ、様々な動きで画面内を泳ぎまわる。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	壁がどこでも投影できる形だと用途が広がる。 デジタル未来アート展では1画面で投影。
プロジェクター	1	4,000Lm 以上、HD 以上の解像度出力が必要。 その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
スキャナー	1	A4 がスキャンでき、解像度が 300dpi 以上のもの。
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1 式	トラス構造が一番自由度あり。 高さ 3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
パソコン	1 式	Unity が動くパソコンが必要。 OS のバージョンにより、プログラムの修正が必要となる可能性あり。また、画面を増やす場合は、別途プログラムの開発が必要となる。
その他	1 式	塗り絵を印刷したものの準備が必要。

③ KOBOSHI KIDS～あいづの宝を取り戻せ！！

<概要>


項目	内容
作品概要	デジタルと会津の風景や伝統産業、伝説などを組み合わせたアート作品。 妖怪の「手長足長」が雨雲でみんなの「大切なもの」を隠してしまった。起き上がり小法師の風船を飛ばして、雲を消し、「大切なもの」を見つけよう。
仕組み	センサー (kinect) により人の動きを感知し、動作に応じ映像が変化。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	壁がどこでも投影できる形だと用途が広がる。 デジタル未来アート展では1画面で投影。
プロジェクター	1	4,000Lm 以上、HD 以上の解像度出力が必要。 その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
センサー	1	Kinect が必要。バージョンによっては、ソフトウェアのアップデートが必要。
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1 式	トラス構造が一番自由度あり。 高さ 3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
パソコン	1 式	Unity が動くパソコンが必要。 OS のバージョンにより、プログラムの修正が必要となる可能性あり。また、画面を増やす場合は、別途プログラムの開発が必要となる。

④ バブルシュート ～デジタルボールパーティ～

<概要>

項目	内容
作品概要	ボールプールとデジタル技術を組み合わせた体験型のコンテンツ。 モンスターによって卵がモンスターの卵に変えられてしまうため、モンスターを卵に近づけないようにボールを当てて撃退しつつ、モンスターにより呪縛をかけられた卵にボールを当てて解放する。
仕組み	ボールをスクリーンに投げると、当たった位置をセンサーで感知し、リアルタイムマッピング技術により、様々な演出が現れる。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	壁がどこでも投影できる形だと用途が広がる。 デジタル未来アート展では3画面で投影。
プロジェクター	3	4,000Lm以上、HD以上の解像度出力が必要。 その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
センサー	3	測域センサーが必要。使用モデルによって、システムの変更を行う必要がある可能性がある。
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1式	トラス構造が一番自由度あり。 高さ3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
パソコン	1式	Unityが動くパソコンが必要。 OSのバージョンにより、プログラムの修正が必要となる可能性あり。また、画面を増やす場合は、別途プログラムの開発が必要となる。
その他	1式	ボールプール(プールエリアの囲い及び中に入れるボールが必要)

⑤ バーチャル鶴ヶ城マラソン～走って走って走りまくれ～

<概要>


項目	内容
作品概要	鶴ヶ城ハーフマラソンをモチーフに画面の中で市内を駆け巡るコンテンツ。身近にある Switch のコントローラーを用いて、体験者の足の動きを検知し画面内のキャラクターが走りだす！新記録を目指して走りまくろう！
仕組み	コントローラーから加速度（動き）の値を受け取り、それを前に進むパワーとしてコンテンツに反映することで、キャラクターが走りだす。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	壁がどこでも投影できる形だと用途が広がる。デジタル未来アート展では1画面で投影。
プロジェクター	1	4,000Lm 以上、HD 以上の解像度出力が必要。その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
センサー	4	Switch のコントローラーが必要（バッテリーとの兼ね合いもあるので、予備も必要）。同時に4人（4つのコントローラー）が体験できます。また、足首にコントローラーを付けるためのサポーターも必要。
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1式	トラス構造が一番自由度あり。高さ3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
パソコン	1式	Unity が動くパソコンが必要。OS のバージョンにより、プログラムの修正が必要となる可能性あり。また、画面を増やす場合は、別途プログラムの開発が必要となる。

⑥ dist

<概要>

項目	内容
作品概要	距離（distance）をテーマにしたデジタルアート作品。 体験者はそれぞれが惑星となり、地面にある様々な形や色の星を集めて自分の惑星を大きくして楽しむことができる。
仕組み	プロジェクターで地面に映像を投影、センサーによって人と人の距離を計測し、1m以内に近づくとエフェクトが発生。
イメージ	

<必要な機材等について>

項目	数	具体的な仕様、特記事項等
スクリーン	1	地面投影となる。 デジタル未来アート展では床にグレイの絨毯を敷いて投影。
プロジェクター	3	4,000Lm以上、HD以上の解像度出力が必要。 その他、表示するサイズ・投影距離により機種を選定。
センサー	6	測域センサーが必要。使用モデルによって、システムの変更を行う必要がある可能性がある。
スピーカー	1～2	コンテンツに音声あり。
投影環境	1式	トラス構造が一番自由度あり。 高さ3.5～4.0m、上からコの字に組む形が一番安定し、正面からコの字に組む場合には倒れる可能性あり。
パソコン	1式	Unityが動くパソコンが必要。 OSのバージョンにより、プログラムの修正が必要となる可能性あり。また、画面を増やす場合は、別途プログラムの開発が必要となる。